

公務員特別科(通信) (教養)

科目	時間数	単位
政治	45	3
経済	45	3
世界史	60	4
日本史	45	3
地理	45	3
生物	45	3
地学	45	3
化学	45	3
物理	45	3
判断推理	150	10
数的推理	150	10
模擬試験演習	120	8
公務員リテラシー	60	4
合計	900	60

科目	社会科学（政治）講義				
単位	2（単位）				
時間数	30 時間				
担当者	蓮見孝二				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 3 月				
授業形式	講義：○		演習：		実習：
学習目標	公務員試験「社会科学」の「政治」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「社会科学（第4版）」 立川学園問題集「社会科学」				
授業計画	①② 憲法・基本的人権 ③ 精神的自由権 ④ 経済的自由権 ⑤ 人身の自由 ⑥ 社会権 ⑦ 受益権 ⑧⑨ 国会 ⑩ 内閣 ⑪ 裁判所 ⑫ 地方自治 ⑬⑭ 政治概念・選挙 ⑮ 各国の政治制度 ⑯ 政党と圧力団体 ⑰ 政治思想 ⑱ 国際政治				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計 2 回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	社会科学（政治）演習				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	蓮見孝二				
実施年度	2026 年度				
実施時期	2026 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：		演習：○		実習：
学習目標	公務員試験「社会科学」の「政治」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「社会科学（第 4 版）」 立川学園問題集「社会科学」				
授業計画	① 憲法（警察官過去問演習①） ② 憲法（警察官過去問演習②） ③ 政治（警察官過去問演習） ④ 憲法（総論・人権） ⑤ 憲法（統治） ⑥ 政治（民主政治・選挙） ⑦ 政治（各国の政治・圧力団体・政党政治） ⑧ 政治（国際政治） ⑨ 政治（国際政治・政治思想） ⑩ 地方上級過去問演習（1） ⑪ 地方上級過去問演習（2） ⑫ 地方上級過去問演習（3） ⑬ 国立大学法人過去問演習				
評価方法	方法		評価割合		備考
	各回の演習結果		40%		
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	社会科学（経済）講義		
単位	2（単位）		
時間数	30 時間		
担当者	岩永敦		
実施年度	2025 年度		
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 3 月		
授業形式	講義：○	演習：	実習：
学習目標	公務員試験「社会科学」の「経済」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。		
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「社会科学（第4版）」 立川学園問題集「社会科学」		
授業計画	① 市場経済 ② 金融（通貨制度・日本銀行の役割） ③ 金融（銀行の業務・金融の自由化・金融の規制緩和） ④ 財政政策と租税制度（財政・予算・租税） ⑤ 財政政策と租税制度（公債・財政投融资・地方財政） ⑥ 現代の企業 ⑦ 国民経済と国民所得 ⑧ 景気循環と経済成長 ⑨ 国際経済（国際分業・国際収支・為替） ⑩ 国際経済（国際経済体制～ODA） ⑪ 戦後の日本経済 ⑫ 経済学説 ⑬ ミクロ経済学（消費者理論） ⑭ ミクロ経済学（生産者理論） ⑮ マクロ経済学（財市場モデル） ⑯ マクロ経済学（IS－LM モデル） ⑰ 経済時事第 1 回 ⑱ 経済時事第 2 回		
評価方法	方法	評価割合	備考
	確認テスト	40%	計 2 回実施
	模擬試験	40%	
	授業態度・意欲等	20%	
成績評価	可否	合格	不合格

基準	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0
科目	社会科学（経済）演習				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	岩永敦				
実施年度	2026 年度				
実施時期	2026 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：		演習：○		実習：
学習目標	公務員試験「社会科学」の「経済」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「社会科学（第 4 版）」 立川学園問題集「社会科学」				
授業計画	① 第 1 回総合問題 ② 第 2 回総合問題 ③ 第 3 回総合問題 ④ 第 4 回総合問題 ⑤ 第 5 回総合問題 ⑥ 第 6 回総合問題 ⑦ 第 7 回総合問題 ⑧ 第 8 回総合問題 ⑨ 第 9 回総合問題 ⑩ 第 10 回総合問題 ⑪ 第 11 回総合問題 ⑫ 第 12 回総合問題				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計 2 回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	人文科学（世界史）講義		
単位	2（単位）		
時間数	30 時間		
担当者	馬渡景也		
実施年度	2025 年度		
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 3 月		
授業形式	講義：○	演習：	実習：
学習目標	公務員試験「人文科学」の「世界史」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。		
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「人文科学（第4版）」 立川学園問題集「人文科学」		
授業計画	① 古代の世界Ⅰ 古代文明と古代のオリエン特・ギリシア ② 古代の世界Ⅱ 古代ローマ ③ 中世の世界 キリスト教と中世ヨーロッパ ④ 近世の世界Ⅰ ルネサンス・大航海時代と宗教改革 ⑤ 近世の世界Ⅱ 絶対王政 ⑥ 近世の世界Ⅲ 市民革命と産業革命 ⑦ 近世の世界Ⅳ 自由主義と国民主義 ⑧ 近代の世界Ⅰ 帝国主義と第一次世界大戦 ⑨ 近代の世界Ⅱ 世界恐慌と第二次世界大戦 ⑩ 現代の世界 冷戦と世界の多極化 ⑪ 古代の中国Ⅰ 黄河文明～秦始皇帝の統一 ⑫ 古代の中国Ⅱ 漢王朝と魏晋南北朝 ⑬ 古代の中国Ⅲ 隋・唐の帝国 ⑭ 中世の中国 宋、元、明 ⑮ 近世の中国 清王朝の盛衰 ⑯ 近・現代の中国 中国の混迷と中華人民共和国 ⑰ イスラム史 ⑱ トルコ・インド史		
評価方法	方法	評価割合	備考
	確認テスト	40%	計 2 回実施
	模擬試験	40%	
	授業態度・意欲等	20%	
成績評価	合否	合格	不合格

基準	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	人文科学（世界史）演習				
単位	2（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	馬渡景也				
実施年度	2026 年度				
実施時期	2026 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	公務員試験「人文科学」の「世界史」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「人文科学（第 4 版）」 立川学園問題集「人文科学」				
授業計画	① 第 1 回総合問題 ② 第 2 回総合問題 ③ 第 3 回総合問題 ④ 第 4 回総合問題 ⑤ 第 5 回総合問題 ⑥ 第 6 回総合問題 ⑦ 第 7 回総合問題 ⑧ 第 8 回総合問題 ⑨ 第 9 回総合問題 ⑩ 第 10 回総合問題 ⑪ 第 11 回総合問題 ⑫ 第 12 回総合問題				
評価方法	方法	評価割合	備考		
	確認テスト	40%	計 2 回実施		
	模擬試験	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	可否	合格		不合格	
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	人文科学（日本史）講義		
単位	2（単位）		
時間数	30 時間		
担当者	馬渡景也		
実施年度	2025 年度		
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 3 月		
授業形式	講義：○	演習：	実習：
学習目標	公務員試験「人文科学」の「日本史」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。		
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「人文科学（第4版）」 立川学園問題集「人文科学」		
授業計画	① 古代Ⅰ 旧石器時代～古墳時代 ② 古代Ⅱ 飛鳥時代 ③ 古代Ⅲ 奈良時代・平安時代（初期） ④ 古代Ⅳ 平安時代（中期・後期） ⑤ 中世Ⅰ 鎌倉時代（執権政治） ⑥ 中世Ⅱ 鎌倉時代（末期）～室町時代（初期） ⑦ 中世Ⅲ 室町時代（幕府の盛衰） ⑧ 近世Ⅰ 安土桃山時代 ⑨ 近世Ⅱ 江戸時代（武断・文治政治） ⑩ 近世Ⅲ 江戸時代（幕政改革・外交） ⑪ 近世Ⅳ 江戸時代（幕末） ⑫ 近代Ⅰ 明治時代（明治維新） ⑬ 近代Ⅱ 明治時代（民権運動と憲法制定） ⑭ 近代Ⅲ 明治時代（日清・日露戦争） ⑮ 近代Ⅳ 大正時代 ⑯ 現代Ⅰ 昭和時代（軍部の台頭と太平洋戦争） ⑰ 現代Ⅱ 戦後史 ⑱ テーマ史Ⅰ 文化史		
評価方法	方法	評価割合	備考
	確認テスト	40%	計 2 回実施
	模擬試験	40%	
	授業態度・意欲等	20%	
成績評価	合否	合格	不合格

基準	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	人文科学（日本史）演習				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	馬渡景也				
実施年度	2026 年度				
実施時期	2026 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	公務員試験「人文科学」の「日本史」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「人文科学（第 4 版）」 立川学園問題集「人文科学」				
授業計画	① 江戸時代① ② 江戸時代② ③ 江戸時代③ ④ 明治時代① ⑤ 明治時代② ⑥ 大正時代・昭和初期 ⑦ 戦後史 ⑧テーマ史 ⑨ 総合演習① ⑩ 総合演習② ⑪ 総合演習③ ⑫ 総合演習④				
評価方法	方法	評価割合	備考		
	各回の演習結果	40%			
	模擬試験	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	人文科学（地理）講義				
単位	2（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	馬渡景也				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 3 月				
授業形式	講義：○		演習：		実習：
学習目標	公務員試験「人文科学」の「地理」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「人文科学（第4版）」 立川学園問題集「人文科学」				
授業計画	①	地理学の基本、世界の地形Ⅰ	大地形		
	②	世界の地形Ⅱ	さまざまな地形①		
	③	世界の地形Ⅲ	さまざまな地形②		
	④	気候、植生、土壌Ⅰ	気候、世界の気候①		
	⑤	気候、植生、土壌Ⅱ	世界の気候②		
	⑥	気候、植生、土壌Ⅲ	植生、土壌		
	⑦	世界の農業、林業、水産業Ⅰ	農業①		
	⑧	世界の農業、林業、水産業Ⅱ	農業②、林業、水産業		
	⑨	世界の鉱工業Ⅰ	世界のエネルギー資源、鉱産資源		
	⑩	世界の鉱工業Ⅱ	主要工業の成立要因、各国の工業		
	⑪	人口、人種、民族Ⅰ	人口、人種		
	⑫	人口、人種、民族Ⅱ	民族		
	⑬	都市、国家			
	⑭	アジアの国々	アフリカの国々		
	⑮	ヨーロッパの国々	アングロアメリカ、ラテンアメリカの国々		
	⑯	オセアニアの国々			
	評価方法	方法		評価割合	
確認テスト		40%		計 2 回実施	
模擬試験		40%			
授業態度・意欲等		20%			
成績評価基準	合否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D

	評点	100～80	79～70	69～60	59～0
--	----	--------	-------	-------	------

科目	人文科学（地理）演習				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	馬渡景也				
実施年度	2026 年度				
実施時期	2026 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	公務員試験「人文科学」の「地理」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「人文科学（第 4 版）」 立川学園問題集「人文科学」				
授業計画	① 第 1 回総合問題 ② 第 2 回総合問題 ③ 第 3 回総合問題 ④ 第 4 回総合問題 ⑤ 第 5 回総合問題 ⑥ 第 6 回総合問題 ⑦ 第 7 回総合問題 ⑧ 第 8 回総合問題 ⑨ 第 9 回総合問題 ⑩ 第 10 回総合問題 ⑪ 第 11 回総合問題 ⑫ 第 12 回総合問題				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	確認テスト	40%		計 2 回実施	
	模擬試験	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	合否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	自然科学（生物）講義		
単位	2（単位）		
時間数	30 時間		
担当者	山口朱美		
実施年度	2025 年度		
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 3 月		
授業形式	講義：○	演習：	実習：
学習目標	公務員試験「自然科学」の「生物」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。		
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「自然科学（第4版）」 立川学園問題集「自然科学」		
授業計画	① 細胞（細胞の構造と細胞小器官） ② 細胞（細胞膜の性質） ③ 細胞（細胞分裂） ④ 代謝（代謝） ⑤ 代謝（異化） ⑥ 代謝（同化） ⑦ 代謝（消化・吸収・排出） ⑧ 反応と調節（恒常性1：血液） ⑨ 反応と調節（恒常性2：免疫） ⑩ 反応と調節（神経系） ⑪ 反応と調節（自律神経とホルモンによる調節） ⑫ 反応と調節（動物の行動） ⑬ 反応と調節（植物の反応と調節） ⑭ 遺伝・生殖（遺伝） ⑮ 遺伝・生殖（遺伝子の本体） ⑯ 遺伝・生殖（生殖） ⑰ 生物と環境（生物と環境・進化） ⑱ 生物と環境（植物群落と遷移）		
評価方法	方法	評価割合	備考
	確認テスト	40%	計2回実施
	模擬試験	40%	
	授業態度・意欲等	20%	
成績評価	可否	合格	不合格

基準	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	自然科学（生物）演習				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2026 年度				
実施時期	2026 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：		演習：○		実習：
学習目標	公務員試験「自然科学」の「生物」「地学」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「自然科学（第 4 版）」 立川学園作成・編集による演習問題				
授業計画	① 生物 細胞 ② 生物 代謝（1） ③ 生物 代謝（2） ④ 生物 反応と調節（1） ⑤ 生物 反応と調節（2） ⑥ 生物 遺伝・生殖 ⑦ 生物 生物と環境・進化				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計 2 回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	自然科学（地学）講義		
単位	2（単位）		
時間数	30 時間		
担当者	山口朱美		
実施年度	2025 年度		
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 3 月		
授業形式	講義：○	演習：	実習：
学習目標	公務員試験「自然科学」の「地学」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。		
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「自然科学（第4版）」 立川学園問題集「自然科学」		
授業計画	① 大気の構造と気象（大気の構造） ② 大気の構造と気象（大気の運動と気象1） ③ 大気の構造と気象（大気の運動と気象2） ④ 大気の構造と気象（日本の気象） ⑤ 大気の構造と気象（基本的な気象現象） ⑥ 大気の構造と気象（海水の運動） ⑦ 地震・火山・地球の歴史（火山地震・地球の内部構造） ⑧ 地震・火山・地球の歴史（プレートテクトニクス） ⑨ 地震・火山・地球の歴史（火山活動） ⑩ 地震・火山・地球の歴史（岩石の特徴と分類） ⑪ 地震・火山・地球の歴史（地層・地質構造） ⑫ 地震・火山・地球の歴史（地質時代と化石） ⑬ 宇宙（恒星） ⑭ 宇宙（太陽系1） ⑮ 宇宙（太陽系2） ⑯ 宇宙（太陽と月） ⑰ 宇宙（地球の自転・公転） ⑱ 宇宙（地球の公転と地軸の傾きによっておこる現象）		
評価方法	方法	評価割合	備考
	確認テスト	40%	計2回実施
	模擬試験	40%	
	授業態度・意欲等	20%	
成績評価	可否	合格	不合格

基準	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	自然科学（地学）演習				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2026 年度				
実施時期	2026 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	公務員試験「自然科学」の「生物」「地学」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「自然科学（第 4 版）」 立川学園作成・編集による演習問題				
授業計画	① 大気の構造と気象（1） ② 大気の構造と気象（2） ③ 地震・火山・地球の歴史（1） ④ 地震・火山・地球の歴史（2） ⑤ 宇宙				
評価方法	方法	評価割合	備考		
	確認テスト	40%	計 2 回実施		
	模擬試験	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	合否	合格		不合格	
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	自然科学（化学）講義		
単位	2（単位）		
時間数	30 時間		
担当者	山口朱美		
実施年度	2025 年度		
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 3 月		
授業形式	講義：○	演習：	実習：
学習目標	公務員試験「自然科学」の「化学」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。		
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「自然科学（第4版）」 立川学園問題集「自然科学」		
授業計画	① 物質の構成粒子（原子の構造） ② 物質の構成粒子（電子殻と電子配置） ③ 物質の構成粒子（イオンのなりたち） ④ 物質の構成粒子（化学結合） ⑤ 物質の構成粒子（原子量・分子量と物質量） ⑥ 物質の構成粒子（化学反応式と物質量） ⑦ 物質の状態（物質の状態変化） ⑧ 物質の状態（気体の法則） ⑨ 物質の変化（反応熱と熱化学方程式） ⑩ 物質の変化（酸と塩基） ⑪ 物質の変化（中和反応） ⑫ 物質の変化（酸化還元反応） ⑬ 物質の変化（イオン化傾向） ⑭ 物質の変化（電池） ⑮ 物質の変化（電気分解） ⑯ 無機物質（非金属元素の性質1） ⑰ 無機物質（非金属元素の性質2） ⑱ 無機物質（金属元素の性質）		
評価方法	方法	評価割合	備考
	確認テスト	40%	計2回実施
	模擬試験	40%	
	授業態度・意欲 等	20%	

成績評価 基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	自然科学（化学）演習				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2026 年度				
実施時期	2026 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	公務員試験「自然科学」の「物理」「化学」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「自然科学（第 4 版）」 立川学園作成・編集による演習問題				
授業計画	① 化学 物質の構成粒子（1） ② 化学 物質の構成粒子（2） ③ 化学 物質の状態 ④ 化学 物質の変化（1） ⑤ 化学 物質の変化（2） ⑥ 化学 無機物質（1） ⑦ 化学 無機物質（2）				
評価方法	方法	評価割合	備考		
	確認テスト	40%	計 2 回実施		
	模擬試験	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	自然科学（物理）講義		
単位	2（単位）		
時間数	30 時間		
担当者	山口朱美		
実施年度	2025 年度		
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 3 月		
授業形式	講義：○	演習：	実習：
学習目標	公務員試験「自然科学」の「物理」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。		
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「自然科学（第4版）」 立川学園問題集「自然科学」		
授業計画	① 力（力） ② 力（滑車・てんびん） ③ 力（ばね） ④ 力（浮力） ⑤ 運動（運動の表し方） ⑥ 運動（等加速度運動・等速度運動） ⑦ 運動（重力運動） ⑧ 運動と力（運動の法則） ⑨ 運動と力（運動量保存の法則） ⑩ エネルギー（仕事） ⑪ エネルギー（力学的エネルギー） ⑫ エネルギー（熱量） ⑬ 波動（波動・音波） ⑭ 波動（電磁波・光波・レンズ） ⑮ 電気（電流と抵抗） ⑯ 電気（電流と仕事） ⑰ 電界と磁界 ⑱ 原子物理		
評価方法	方法	評価割合	備考
	確認テスト	40%	計 2 回実施
	模擬試験	40%	
	授業態度・意欲等	20%	
成績評価	合否	合格	不合格

基準	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	自然科学（物理）演習				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2026 年度				
実施時期	2026 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：		演習：○		実習：
学習目標	公務員試験「自然科学」の「物理」「化学」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「自然科学（第 4 版）」 立川学園作成・編集による演習問題				
授業計画	① 物理 力 ② 物理 運動 ③ 物理 力と運動・エネルギー ④ 物理 波動 ⑤ 物理 電気・電界と磁界・原子物理				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計 2 回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	判断推理講義				
単位	5（単位）				
時間数	75 時間				
担当者	岩永 敦				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 3 月				
授業形式	講義：○		演習：		実習：
学習目標	公務員試験「判断推理」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルレジュメ「判断推理」 立川学園問題集「判断推理・数的推理」				
授業計画	【判断推理分野】 ① 論理 ② 集合 ③ 人数 ④ 対応関係 ⑤ 順序関係 ⑥ うそつき ⑦ 位置関係 ⑧ 試合と勝敗 ⑨ 手順 ⑩ 数量推理 ⑪ 暗号 【空間概念分野】 ⑫ 道順・位相 ⑬ 軌跡 ⑭ 平面図形 ⑮ 立体図形 ⑯ 正多面体 ⑰ 断面・切断 ⑱ 展開図				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計 2 回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	判断推理演習				
単位	5（単位）				
時間数	75 時間				
担当者	岩永 敦				
実施年度	2026 年度				
実施時期	2026 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：		演習：○		実習：
学習目標	公務員試験「判断推理」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルレジュメ「判断推理」 立川学園作成・編集による演習問題				
授業計画	① 論理 ② 集合・人数 ③ 対応関係 ④ 順序関係 ⑤ うそつき・位置関係 ⑥ 試合と勝敗・手順 ⑦ 軌跡 ⑧ 平面図形・立体図形 ⑨ 正多面体・断面 ⑩ 展開図 ⑪ 道順・位相 ⑫ 暗号・数量推理				
評価方法	方法		評価割合		備考
	各回の演習結果		40%		
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	数的推理講義				
単位	5（単位）				
時間数	75 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 3 月				
授業形式	講義：○	演習：	実習：		
学習目標	公務員試験「数的推理」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルレジュメ「数的推理」 立川学園問題集「判断推理・数的推理」				
授業計画	【整数分野】 ① 数の性質（素因数分解・倍数・約数） ② 数の性質（割った余り） ③ 記数法 ④ 数列 【数的推理分野】 ⑤ 方程式 ⑥ 比・割合 ⑦ 濃度 ⑧ 利益・売買 ⑨ 仕事算 ⑩ ニュートン算 ⑪ 速さ（通過算・流水算） ⑫ 速さ（旅人算・ダイアグラム） 【場合の数・確率分野】 ⑬ 場合の数 ⑭ 確率 【図形分野】 ⑮ 図形（多角形・相似） ⑯ 図形（多角形・三平方の定理） ⑰ 図形（円） ⑱ 図形（立体）				
評価方法	方法	評価割合	備考		
	確認テスト	40%	計 2 回実施		
	模擬試験	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	数的推理演習				
単位	5（単位）				
時間数	75 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2026 年度				
実施時期	2026 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：		演習：○		実習：
学習目標	公務員試験「数的推理」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルレジュメ「数的推理」 立川学園作成・編集による演習問題				
授業計画	① 数の性質（素因数分解・倍数・約数） ② 方程式 ③ 比・割合、濃度 ④ 利益・売買、仕事算・ニュートン算 ⑤ 速さ（通過算・流水算） ⑥ 速さ（旅人算・ダイアグラム） ⑦ 場合の数 ⑧ 確率 ⑨ 図形（多角形） ⑩ 図形（円） ⑪ 記数法 ⑫ 数列				
評価方法	方法		評価割合		備考
	各回の演習結果		40%		
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	模擬試験演習				
単位	4（単位）				
時間数	60 時間				
担当者	蓮見 孝二				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 12 月～2026 年 3 月				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	本試験と同様の模擬試験を解くことで、実力を身に付ける。 主に、授業の進度に合わせた模擬試験を実施し、習熟度の確認を行う。				
使用教材	立川学園オリジナル模擬試験「上級ゼロワン[基礎]」 立川学園オリジナル模擬試験「セレクト模試」 過去問模擬試験				
授業計画	① セレクト模試① ② 上級ゼロワン[基礎①] ③ 東京消防庁Ⅲ類 過去問模試 ④ セレクト模試② ⑤ 上級ゼロワン[基礎②] ⑥ 国家一般職高卒程度 過去問模試 ⑦ 警視庁Ⅲ種 過去問模試 ⑧ セレクト模試③ ⑨ 上級ゼロワン[基礎③] ⑩ 裁判所Ⅲ類 過去問模試 ⑪ 入警・海保 過去問模試 ⑫ 国家一般職 過去問模試 ⑬ 上級ゼロワン[基礎④] ⑭ セレクト模試④				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	確認テスト	0%			
	模擬試験	60%		60 点満点に換算	
	授業態度・意欲等	40%		成績の伸びを加味	
成績評価 基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	模擬試験演習				
単位	4（単位）				
時間数	60 時間				
担当者	蓮見 孝二				
実施年度	2026 年度				
実施時期	2026 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	過去に本試験で出題された模擬試験を解くことで、実力を身に付ける。 主に、前年度の本試験問題を解くことで、試験毎の傾向を知る。				
使用教材	立川学園オリジナル模擬試験「上級ゼロワン」 過去問模擬試験				
授業計画	① 裁判所一般職大卒程度 過去問模試 ② 国税専門官 過去問模試 ③ 裁判所一般職大卒程度 過去問模試 ④ 国家一般職大卒程度 過去問模試 ⑤ 裁判所一般職大卒程度 過去問模試 ⑥ 国税専門官 過去問模試 ⑦ 上級ゼロワン[実力] ⑧ 国家一般職大卒程度 過去問模試 ⑨ 国税専門官 過去問模試 ⑩ 国家一般職大卒程度 過去問模試 ⑪ 上級オリジナル模試 ⑫ 初級公開模試				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	確認テスト	0%			
	模擬試験	60%		60 点満点に換算	
	授業態度・意欲等	40%		成績の伸びを加味	
成績評価 基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	公務員リテラシー				
単位	4（単位）				
時間数	60 時間				
担当者	岩永敦、山口朱美、蓮見孝二				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 10 月				
授業形式	講義：○	演習：○	実習：○		
学習目標	公務員試験の 2 次試験で実施される、面接、集団討論、グループワーク、論文などに対応できる能力を身につける。				
使用教材	教員が用意するレジュメ				
授業計画	◆面接（主に個別指導） ・自己分析 ・受験先研究 ・面接の所作(入退室など) ・模擬面接 ◆論文（主に添削指導） ・論文の書き方 ・論文作成 ・添削指導 ◆集団討論、グループワーク ・実践				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	模擬面接	40%			
	論文	20%			
	授業態度・意欲等	40%			
成績評価基準	合否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

公務員特別科(通信) (専門)

科目	時間数	単位
憲法	90	6
民法	105	7
行政法	90	6
経済学	120	8
模擬試験演習	60	4
合計	465	31

科目	憲法講義				
単位	4（単位）				
時間数	60 時間				
担当者	蓮見孝二				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 3 月				
授業形式	講義：○	演習：	実習：		
学習目標	公務員試験「憲法」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「憲法（第4版）」 立川学園問題集「憲法」				
授業計画	①憲法総説、私人間適用の可否、人権の享有主体（1） ②人権の享有主体（2）、人権の限界 ③幸福追求権 ④法の下での平等 ⑤思想良心の自由、学問の自由 ⑥信教の自由 ⑦⑧⑨表現の自由 ⑩⑪職業選択の自由・居住移転の自由ほか ⑫⑬財産権、人身の自由 ⑭社会権 ⑮⑯国務請求権、国会 ⑰内閣 ⑱⑲裁判所 ⑳財政、地方自治				
評価方法	方法	評価割合	備考		
	確認テスト	40%	計 2 回実施		
	模擬試験	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	憲法演習				
単位	2（単位）				
時間数	30 時間				
担当者	蓮見孝二				
実施年度	2026 年度				
実施時期	2026 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	公務員試験「憲法」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「憲法（第 4 版）」 立川学園問題集「憲法」				
授業計画	① 憲法総論・総則的権利 ② 精神的自由権 ③ 経済的自由権 ④ その他の人権 ⑤ 国会 ⑥ 内閣 ⑦ 裁判所 ⑧ 財政・地方自治 ⑨ 第 1 回総合問題 ⑩ 第 2 回総合問題 ⑪ 第 3 回総合問題 ⑫ 第 4 回総合問題				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	確認テスト	40%		計 2 回実施	
	模擬試験	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	民法講義				
単位	5（単位）				
時間数	75 時間				
担当者	蓮見孝二				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 3 月				
授業形式	講義：○	演習：	実習：		
学習目標	公務員試験「民法」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「民法Ⅰ（第4版）」「民法Ⅱ（第4版）」 立川学園問題集「民法Ⅰ」「民法Ⅱ」				
授業計画	①能力②意思表示 ③代理④法人 ⑤時効⑥無効と取消し、条件と期限 ⑦物権総論、不動産物権変動（1）⑧不動産物権変動（2） ⑨動産物権変動、即時取得⑩占有権 ⑪所有権⑫用益物権、担保物権総論 ⑬留置権、質権（1）⑭質権（2）、抵当権（1） ⑮抵当権（2）⑯非典型担保物権、債権総論総説 ⑰契約総論⑱売買 ⑲賃貸借⑳その他の契約 ㉑事務管理、不当利得㉒不法行為 ㉓債権総論総説、債務不履行㉔債権の消滅 ㉕責任財産の保全㉖多数当事者間の債権債務 ㉗債権譲渡、その他㉘㉙親族 ㉚㉛相続				
評価方法	方法	評価割合	備考		
	確認テスト	40%	計 2 回実施		
	模擬試験	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	民法演習				
単位	2（単位）				
時間数	30 時間				
担当者	蓮見孝二				
実施年度	2026 年度				
実施時期	2026 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：		演習：○		実習：
学習目標	公務員試験「民法」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、 公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「民法（第 4 版）」 立川学園問題集「民法」				
授業計画	① 民法総則 ② 物権 ③ 担保物権 ④ 契約法 ⑤ 事務管理・不当利得・不法行為 ⑥ 債権総論 ⑦ 親族法 ⑧ 相続法 ⑨ 第 1 回総合問題 ⑩ 第 2 回総合問題 ⑪ 第 3 回総合問題 ⑫ 第 4 回総合問題				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計 2 回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価 基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	行政法講義				
単位	4（単位）				
時間数	60 時間				
担当者	蓮見孝二				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 3 月				
1 業形式	講義：○	演習：	実習：		
学習目標	公務員試験「行政法」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「行政法（第4版）」 立川学園問題集「行政法」				
授業計画	①行政法総論 ②行政行為の分類・効力、行政行為の附款 ③瑕疵ある行政行為 ④行政裁量 ⑤行政立法、行政契約 ⑥行政指導、行政計画 ⑦行政調査、情報公開 ⑧行政手続法 ⑨⑩行政事件訴訟法概観、取消訴訟の訴訟要件 ⑪取消訴訟の本案審理、判決 ⑫取消訴訟以外の訴訟類型 ⑬行政上の不服申立て ⑭⑮教示、国家賠償法 ⑯公法私法二元論、民事法との関係ほか ⑰⑱行政機関				
評価方法	方法	評価割合	備考		
	確認テスト	40%	計 2 回実施		
	模擬試験	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	行政法演習				
単位	2（単位）				
時間数	30 時間				
担当者	蓮見孝二				
実施年度	2026 年度				
実施時期	2026 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	公務員試験「行政法」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「行政法（第 4 版）」 立川学園問題集「行政法」				
授業計画	① 行政法総論・行政行為 ② 瑕疵ある行政行為・行政裁量・行政立法 ③ 行政契約・行政計画・行政指導・行政調査・情報公開 ④ 義務履行確保の手段・行政罰 ⑤ 取消訴訟 ⑥ 取消訴訟以外の訴訟類型 ⑦ 行政上の不服申立て ⑧ 国家賠償法 ⑨ 第 1 回総合問題 ⑩ 第 2 回総合問題 ⑪ 第 3 回総合問題 ⑫ 第 4 回総合問題				
評価方法	方法	評価割合	備考		
	確認テスト	40%	計 2 回実施		
	模擬試験	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	経済原論講義		
単位	5（単位）		
時間数	75 時間		
担当者	岩永敦		
実施年度	2025 年度		
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 3 月		
授業形式	講義：○	演習：	実習：
学習目標	公務員試験「経済原論」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。		
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「経済原論（第3版）」 立川学園問題集「経済原論」		
授業計画	① 消費者行動の分析（効用最大化） ② 消費者行動の分析（需要の所得弾力性～代替効果と所得効果） ③ 消費者行動の分析（最適労働供給～期待効用最大化仮説） ④ 企業行動の分析（費用関数～供給関数） ⑤ 企業行動の分析（長期の費用曲線～2要素生産関数） ⑥ 市場均衡と経済厚生（市場経済～完全競争市場の長期均衡） ⑦ 市場均衡と経済厚生（余剰分析・パレート最適） ⑧ 不完全競争市場 ⑨ 市場の失敗 ⑩ 国際貿易論 ⑪ 国民経済計算表と物価指数 ⑫ 財市場の分析 ⑬ 貨幣市場の分析 ⑭ IS-LM 分析 ⑮ 消費と投資 ⑯ 失業とインフレーション ⑰ 経済成長理論 ⑱ 国際マクロ経済学		
評価方法	方法	評価割合	備考
	確認テスト	40%	計 2 回実施
	模擬試験	40%	
	授業態度・意欲等	20%	
成績評価	可否	合格	不合格

基準	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	経済原論演習				
単位	3（単位）				
時間数	45 時間				
担当者	岩永敦				
実施年度	2026 年度				
実施時期	2026 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：		演習：○		実習：
学習目標	公務員試験「経済原論」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「経済原論（第3版）」 立川学園問題集「経済原論」				
授業計画	① 第1回総合問題 ② 第2回総合問題 ③ 第3回総合問題 ④ 第4回総合問題 ⑤ 第5回総合問題 ⑥ 第6回総合問題 ⑦ 第7回総合問題 ⑧ 第8回総合問題 ⑨ 第9回総合問題 ⑩ 第10回総合問題 ⑪ 第11回総合問題 ⑫ 第12回総合問題				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計2回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	模擬試験演習				
単位	4（単位）				
時間数	60 時間				
担当者	蓮見孝二				
実施年度	2026 年度				
実施時期	2026 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	過去に本試験で出題された模擬試験を解くことで、実力を身に付ける。 主に、前年度の本試験問題を解くことで、試験毎の傾向を知る。				
使用教材	立川学園オリジナル模擬試験「上級ゼロワン」 過去問模擬試験				
授業計画	① 裁判所一般職大卒程度 過去問模試 ② 国税専門官 過去問模試 ③ 裁判所一般職大卒程度 過去問模試 ④ 国家一般職大卒程度 過去問模試 ⑤ 裁判所一般職大卒程度 過去問模試 ⑥ 国税専門官 過去問模試 ⑦ 上級ゼロワン[実力] ⑧ 国家一般職大卒程度 過去問模試 ⑨ 国税専門官 過去問模試 ⑩ 国家一般職大卒程度 過去問模試 ⑪ 上級オリジナル模試 ⑫ 初級公開模試				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	確認テスト	0%			
	模擬試験	60%		60 点満点に換算	
	授業態度・意欲等	40%		成績の伸びを加味	
成績評価 基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0